

伊勢茶の収量安定を

JA伊勢 研修で防除呼びかけ

【伊勢】JA伊勢は9日、伊勢茶の産地として知られる度会町と大紀町の茶園5カ所で茶現地研修会を開き、管内の茶生産者約40人が参加した。

当日は、同JA担当者が施肥管理や生育状況、凍霜害対策について説明した他、参加者は茶園を回りながら病虫害の発生量や防除適期などを確認した。本年度は気温が高く雨が適度にあることから、平年よりも茶の生育が早いため、施肥や整枝作業を早めに行うよう呼びかけた。

同JAの担当者は「よりよい状態で萌芽（ほうが）期を迎え、一番茶の収量を安定さ



葉裏についたハダニの有無を確認するJA伊勢の職員④と生産者ら

せるためにも、茶園の状態を確認しながら病虫害防除をしっかりと行（う）ってほしい」と話す。

伊勢茶は葉肉が厚

く、濃厚な味わいが特徴。清流宮川の中流域にある度会町と大紀町は、全国でも有数の茶産地となっている。